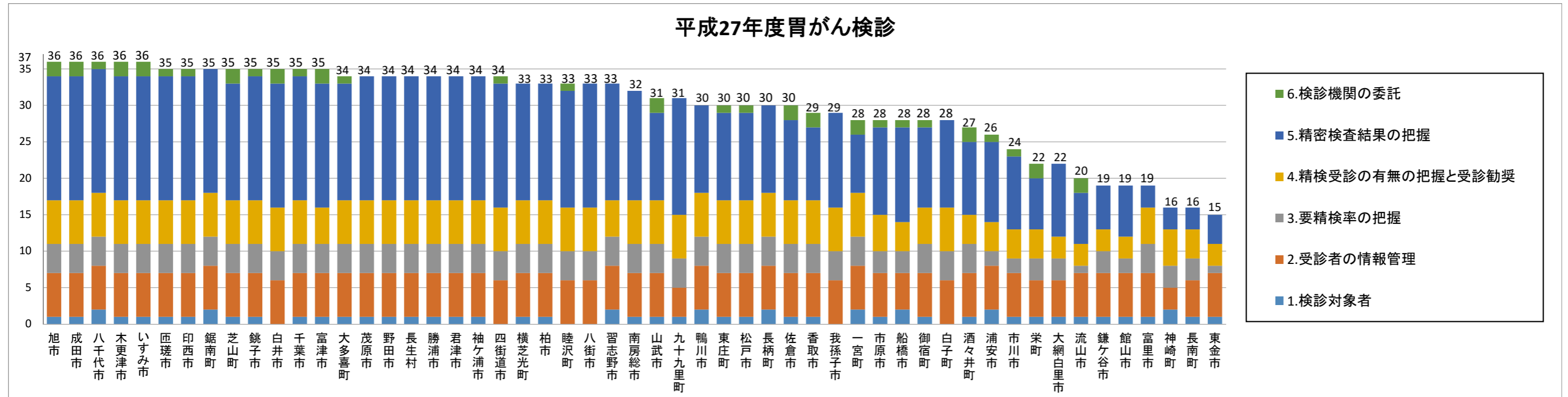




平成27年度 胃がん検診チェックリスト調査結果 ー市町村(集団検診)ー



【チェックリスト項目】 計37項目

項目	千葉県実施率	全国平均実施率
<b>1. 検診対象者 計2項目</b>		
(1) 対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか	88.7%	88.8%
(2) 対象者に均等に受診勧奨を行っているか	17.0%	48.3%
<b>2. 受診者の情報管理 注1) 計6項目</b>		
(1) 対象者数(推計含む)を把握しているか	98.1%	95.6%
(2) 受診者数を性別・年齢階級別に集計しているか	96.2%	91.1%
(3) 個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	98.1%	98.2%
(3-a) 受診者数を過去の検診受診歴別に集計しているか注2)	98.1%	96.1%
(3-b) 受診者を検診実施機関別に集計しているか	94.3%	88.4%
(3-c) 過去3年間の受診歴を記録しているか	98.1%	91.3%
<b>3. 要精検率の把握 注1) 計4項目</b>		
(1) 要精検率を把握しているか	100.0%	95.3%
(2) 要精検率を性別・年齢階級別に集計しているか	90.6%	88.2%
(3) 要精検率を検診実施機関別に集計しているか	92.5%	86.7%
(4) 要精検率を過去の検診受診歴別に集計しているか注2)	81.1%	75.4%
<b>4. 精検受診の有無の把握と受診勧奨 注1) 計6項目</b>		
(1) 精検受診率を把握しているか	100.0%	93.4%
(1-a) 精検受診率を性別・年齢階級別に集計しているか	88.7%	85.6%
(1-b) 精検受診率を検診実施機関別に集計しているか	92.5%	83.2%
(2) 精検受診率を過去の検診受診歴別に集計しているか注2)	79.2%	73.2%
(3) 精検未受診率を把握しているか	88.7%	83.8%
(4) 精検未受診者に精検の受診勧奨を行っているか	88.7%	86.6%
<b>5. 精密検査結果の把握 注1) 計17項目</b>		
(1) 精密検査結果及び治療の結果報告を精密検査実施機関から受けているか	100.0%	96.2%
(2) 過去3年間の精密検査結果を記録しているか	92.5%	83.1%
(3) 精密検査の検査方法を把握しているか	83.0%	86.7%
(4) がん発見率を把握しているか	94.3%	88.0%
(4-a) がん発見率を性別・年齢階級別に集計しているか	81.1%	80.2%
(4-b) がん発見率を検診実施機関別に集計しているか	86.8%	78.6%
(4-c) がん発見率を受診歴別注2)に集計しているか	73.6%	68.7%
(5) 早期がん割合(発見がん数に対する早期がん数)を把握しているか	64.2%	75.4%
(5-a) 粘膜内がんを区別しているか		
(5-b) 早期がん割合を性別・年齢階級別に集計しているか	60.4%	69.1%
(5-c) 早期がん割合を検診実施機関別に集計しているか	58.5%	64.1%
(5-d) 早期がん割合を受診歴別注2)に集計しているか	56.6%	67.4%
(6) 陽性反応適中度を把握しているか	81.1%	68.8%
(6-a) 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計しているか	77.4%	62.1%
(6-b) 陽性反応適中度を検診実施機関別に集計しているか	77.4%	62.0%
(6-c) 陽性反応適中度を受診歴別注2)に集計しているか	69.8%	55.2%
(7) がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか	100.0%	99.5%
<b>6. 検診機関の委託 計2項目</b>		
(1) 委託検診機関の選定に際し、仕様書を作成・提出させてそれを基に判断しているか	54.7%	65.1%
(2) 仕様書に必須の精度管理項目を明記させているか	26.4%	45.2%

※平成28年3月にチェックリストの改定版が作成されました。本紙は改正前のチェックリストに基づく調査結果です。

出典) 国立がん研究センター  
「平成27年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」を元に加工  
(※H28.11 市町村修正後)

注1) 各項目を検診実施機関に委託して行っている場合を含む  
注2) 初回受診者(初回の定義は過去3年間に受診歴がない者)及び逐年検診受診者等の受診歴別